

### Baroccoについて

Baroccoは、非常にユニークな分離型メカニカルキーボードです。各種で利用ニーズに対応するために、人間工学に基づいて設計されており、より快適にご使用いただくことができます。長時間のご使用でも、手首の疲れや不快感を最小限に抑えることができます。

### キーボードのセッティングについて

1. 最初にキーボードの左右ユニットをMicroUSBケーブルでつないでください。  
※センター寄りのポートを使用してください。Mistelロゴ上部のポートは、使用できません。
2. 次に、右側ユニットのMiniB USBポートにUSB ケーブル(MiniB →A)をつなぎご使用になるPCのUSBポートに接続してください。
3. プログラミングモードを使用する際は、右側ユニットが親機となります。  
必ず右側ユニットのMiniB USBポートとPCのUSBポートをケーブルで接続してください。  
左側ユニットのみを使用する際は、左右ユニットはつながず、左側ユニットのMiniB USBポートとPCのUSBポートをケーブルで接続してください。  
また、左側ユニットのみでプログラミングモードを使用することはできません。

### 仕様

モデル名 : Barocco RGB  
モデル番号 : MD600 RGB  
キーボード配列 : ANSIもしくはISO  
キー数 : 62キーもしくは63キー  
キーキャップ : 二色成形PBTキーキャップ  
キースイッチ : Cherry MX スイッチ  
マクロ機能 : ○  
ポーリングレート : 1000Hz  
マトリックス : Nキーロールオーバー  
メディアキー : ○  
オンボードメモリー : ○  
寸法 : W295.5 x D124.5 x H39.5 mm  
重量 : 約485g  
3タイプの配列切り替えが可能(Qwerty、Dvorak、Colemak)

### パッケージアクセサリ

キーボード本体 x1  
USB ケーブル(MiniB →A) x1  
USB ケーブル(MicroB →MicroB) x1  
交換用Enterキーキャップ(オレンジ) x1  
※2色成形ではありません。  
Mistel ABS/TPRキーブラー x1  
マニュアル兼保証書(本書) x1



Microsoft Windowsは米国マイクロソフト社及びその他の国における登録商標です。  
Windows is a registered trademark of Microsoft Corporation in the United States and other countries.

# MISTEL

# BAROCCO

KEYBOARD

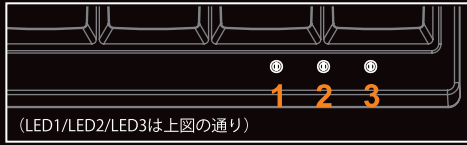
# RGB

## MD600 RGB Version

## ユーザーマニュアル



## プログラミング (マクロ設定) について



Barocolは、4つのキーレイアウトレイヤー (階層) を持っています。  
初期レイヤーはプログラミング (マクロ設定) することができません。  
1~3レイヤーのみプログラミング可能です。

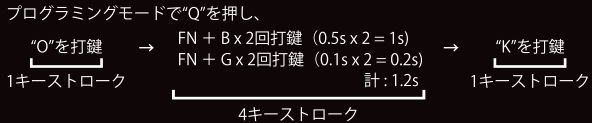
- Step 1. プログラミングしたいレイヤー (FN + <キー、>キー、?キー) を選択します。
- Step 2. FN + 右CTRLを押してプログラミングモードに進みます。(LED3が青色に点灯します)
- Step 3. プログラムしたいキーを押します。(LED3が青色に点滅します)
- Step 4. プログラミング内容をタイプし、PNを押します。(LED3が再び青色に点灯します)
- Step 5. ステップ3と4を繰り返し、その他キーもプログラムします。
- Step 6. FN + 右CTRLを押し、プログラミングモードから退出します。(LED3が消灯します)

- ・プログラミングモードで、プログラム済みのキーを長押しすると、LED3が点滅し、そのキーのプログラムがリセットされます。
- ・FNレイヤー (FNキーとの同時押し) のプログラミングは、FNコンビネーションキー (例、FN + A) でプログラムすることができます。
- ・文字と文字の遅延間隔の設定をしたい場合は、次の操作で行うことができます。

遅延間隔を15msにしたい場合・・・FN+T  
遅延間隔を0.1sにしたい場合・・・FN+G  
遅延間隔を0.5sにしたい場合・・・FN+B  
(※設定していない場合は、15ms間隔でプログラムされます。)

また、遅延間隔をより細かく設定することもできます。但し、遅延間隔を1回挿入する毎に、1キーストロークとしてカウントされます。各キーに対して、最大32キーストロークまでプログラムすることができます。

(例) Oを押した際に、“ok”と入力されるようプログラムする。oとkの間に1.2秒の間隔を挿入する。



- ・プログラムモードで、15秒間どのキーも押されない場合、通常モードに戻ります。

### 各レイヤーを初期状態に戻す場合

FN + Rを長押しで、LED2が白色で5秒間点滅し、選択中のレイヤーが初期状態に戻ります。

**注意：**

プログラムされたキーをレイヤー毎に初期化することができます。

また、左ALTと右ALTを同時に押し続けると、キーコードがプログラムされている全てのレイヤーを初期化することができます。(初期設定レイヤーに戻ります)

## FN複合キー (FNキーとの同時押し)

FN一般キー			注記	
FN	+	ESC	`	FNキーとの同時押しで出力されるキーコードが左のように変更されます。
		1	F1	
		2	F2	
		3	F3	
		4	F4	
		5	F5	
		6	F6	
		7	F7	
		8	F8	
		9	F9	
		0	F10	
		-	F11	
		= +	F12	
			↑	
		J	←	
		K	↓	
		L	→	
		P	PrtSc	
		[{	ScrLk	
		]}	Pause	
Z	APP			
H	Home			
N	End			
U	PgUp			
O	PgDn			
Backspace	Del			
" ' /	Del			
::	Ins			
A	レイアウトの切り替え			

レイヤーの切り替え			注記	
FN	+	M	Default	LED2が消灯
		<	Layer 1	LED2が赤色に点灯
		>	Layer 2	LED2が緑色に点灯
		? /	Layer 3	LED2が青色に点灯

**注意：**

Fn + Aを押すと、レイアウトタイプの変更が可能です。

変更は打鍵毎に切り替わります。(Qwerty → Dvorak → Colemak → Qwerty・・・)

LED1は現在設定されているレイアウトタイプを表示します。

・青色点灯時：Dvorak配列 ・緑色点灯時：Colemak配列 ・消灯時：Qwerty配列

### FNまたはPNポジションの変更

FN + 左Shiftを3秒間押しと、LED3が赤色で点滅します。

再びFNを押してキーを設定します。

PN + 左Shiftを3秒間押しと、LED3が緑色で点滅します。

再びPNを押してキーを設定します。

## FN(PN)キーをCapsLockへ割り当てる場合

1. Layer 1~3のいずれかを選択します。
2. FN(PN) + 左Shiftを3秒間押しと、(LED3が、FNでは赤色/PNでは緑色で点滅)
3. FN (PN) を押します
4. CapsLockを押します
5. 元々のFNキーの位置は、Windowsキーとして動作します。  
(PNの場合は、Menu・アプリキーとして動作)

※注意

- 1: FN(PN)ポジションを変更し、割り当てた位置を忘れてしまった場合は、初期FN(右Altの右隣)とRを押して、復元することができます。但し、一緒に選択中レイヤー内のすべてのマクロ設定もリセットされます。
- 2: FN(PN)のポジション変更が可能なキー、およびFn+レイヤーのプログラミングが可能なキーには制限があります。詳しくは、下記のURLをFAQをご確認ください。

◎メーカーの最新ファームウェア公開のあわせて、ホームページ上で公開中のFAQに関して随時更新してまいります。

<http://www.archisite.co.jp/support/faqkeyboard/#barocco>



### その他：

1. 左Shift + ESC = ~ (チルダ)
2. ESC = ESC
3. FN + ESC = ` (バックオフト)
4. Alt + FN + ESC = 半角/全角(英字入力と日本語ローマ字入力の切り替え)
5. 左Win + 右Alt + 右スペースキーを押すと、右Shift、FN、PN及び右Ctrlをアローキー(↑、←、↓、→)に変更可能です。元に戻す際は、再度左Win + 右Alt + 右スペースキーを押してください。

### LEDバックライトの操作について

PN + ESC = カラーパレットから発光色を選択

PN + 1 = 赤(R)の輝度調節

PN + 2 = 緑(G)の輝度調節

PN + 3 = 青(B)の輝度調節

PN + 4 = LEDモードの変更①

-LEDモードの変更①-

1. Reactive 単色モード

2. Reactive RGBモード

3. Ripple 単色モード

4. Ripple RGBモード

5. Aurora 単色モード

6. Aurora RGBモード

※各単色モードは、PN(Menu) + ESC ~ F3で発光色の選択/調節が可能です。

RGBモードは、ランダムに発光色が変化します。発光色の選択/調節はできません。

PN + 9 = 各キーの単色発光RECモード (REC 1)

PN + 0 = 各列の単色発光RECモード (REC 2)

PN + - = 各キーの単色発光再生モード (CM 1)

PN + + = 各列の単色発光再生モード (CM 2)

PN + C = LEDバックライトの輝度UP

PN + V = LEDバックライトの輝度DOWN

PN + X = LEDバックライトのON / OFF

PN + < = LEDバックライトの変化速度UP

PN + > = LEDバックライトの変化速度DOWN